



1 「中越大震災ネットワークおぢや」とは

当会の事務局である新潟県小千谷市（おぢやし）では、平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震で震度6強を観測しました。

この震災により、当市では人的被害で死者19名、負傷者785名。住宅被害では全壊622棟、大規模半壊370棟、半壊2,386棟、一部損壊7,514棟（参考：無被害7棟）、その他に道路・田畑・ライフライン・産業等へも甚大な被害を受けました。

この災害の対応においては、全国の多くの自治体から人的・物的なご支援をいただきました。災害対応は、膨大な量の業務を処理する必要があり、全国から駆けつけてくださった応援職員の献身的な活動がなければ、とうてい乗り切ることが不可能でした。また、初めての業務であるために、本来リーダーとなるべき経験者が不足し、多くのとまどいと混乱をもたらしました。このような時に災害対応経験のある自治体からの応援職員がもつノウハウは大きな力となりました。

そこで、震災の翌年、平成17年10月25日に小千谷市では今回の対応で蓄積された経験と教訓を関係者の間で共有するとともに、次の災害では経験者としてアドバイスをする、あるいはノウハウを提供する人的なつながりの拠点の一つとしてほしいという想いから、関係者のネットワー

ク組織として「中越大震災ネットワークおぢや」を設立しました。

年々当協議会の充実を図り、平成20年には災害発生時の職員派遣調整に関する具体的な事項を取決め、震災時には円滑に対応できるよう改善しました。会員数は設立当初から年々上昇し、平成29年度現在で77自治体となっています。

2 活動内容

① 平時の活動

平常時の主な活動として、「住家被害認定調査の実地研修会」と「総会及び研修会」を開催しています。

住家被害認定調査は、様々な公的支援等の基準となる罹災証明書に必要な調査ですが、災害時特有の業務なため、多くの自治体職員には馴染みのない業務のひとつです。当研修会の利点として、現存する被災家屋を実際に使用して研修会を



実地研修会の様子



総会・研修会の様子



平成 28 年熊本地震応援職員派遣による
被害認定調査実施の様子

行っています。実際の被害状況を見ることで、机上では体感出来ない現場での対応を経験できます。

また、総会及び研修会は、会員自治体持ち回りで開催しており、1 日目に会員向けの防災研修と総会、2 日目は一般公開の防災講演を行い、災害対応業務のノウハウや防災知識の共有を図っております。

②災害応援活動

災害時応援活動として、「先遣隊派遣活動」と「応援職員派遣」を実施しています。

先遣隊派遣活動は被災情報収集に重点を置き、原則として事務局及び大規模災害を経験した自治体会員が中心となって行います。先遣隊の情報と被災自治体の意向により応援職員派遣が必要となった場合、会員自治体に対して応援職員派遣の要請を行い、会員自治体の判断により応援職員派遣を行います。

今までに応援派遣活動実績のある災害は右表のとおりですが、近年では平成 28 年度の熊本地震でも先遣活動及び応援職員派遣を行い、応援職員派遣では 20 自治体、実人数 49 名、延べ人数 293 名の方から災害応援に従事していただきました。

3 おわりに

本会は、一言で言えば震災当時に助けていただいた恩返しのために設立しました。幸いにも、当市は初期の段階から災害対応業務の経験・知識のある神戸市職員や常葉大学教授など様々な方から指導を受けることができ、当市としては未曾有の大震災から復旧・復興を行うことができました。

大災害が発生した際、被災自治体が単独で対応できるものには限りがあります。当協議会では、日頃から研修会の開催などで教訓・ノウハウを伝えていくと共に、顔の見える関係作りを行い、災害時受入れやすい、派遣をしやすい関係になることを理想としています。今後も会員同士の繋がりを大切にし、皆さまから必要とされる協議会を目指して活動していきます。

応援派遣活動実績一覧

年度	災害時応援活動
平成18年度	○能登半島地震
平成19年度	○新潟県中越沖地震
平成22年度	○台風第9号 ○東日本大震災
平成23年度	○東日本大震災 ○新潟・福島豪雨
平成28年度	○熊本地震